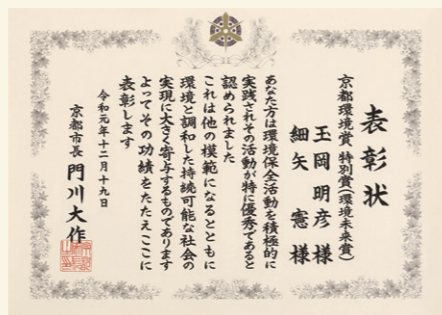


TOPICS

友禅印刷が 令和元年度 京都環境賞 (環境未来賞) 受賞!

京都環境賞とは…

京都市が環境に関する市民の関心を高め、さまざまな実践活動の更なる推進を図ることを目的として創設した賞。地球温暖化の防止や循環型社会の形成をはじめとした環境保全に貢献する活動を実践する事業者を顕彰するものです。



今回は京都府立大学 大学院生命環境科学研究科の細矢憲教授とともに、「捨てる邪魔モノを京都の新名物に-友禅印刷がさまざまな廃棄物、機能性物質の印刷を可能にした!」をテーマに、環境負荷となりうる廃棄物や半端物(くず)を機能性物質として見直しました。

そこに友禅印刷の技術を活用することで、京都独特の“品”と新たな機能を併せ持つ新名産品を作り出す概念を確立しました。廃棄物を新たなストーリーを持つアイテムとして製品化をしたことが評価され、受賞につながりました。



大平印刷とともに共同研究を行い、京都環境賞の特別賞(環境未来賞)を受賞しました。

常に新しいことを取り入れつつ進化するのが京の伝統。「友禅」という技術にその根本を学び、印刷に「機能」の保持を実現させた友禅印刷。印刷という一見古くさい技術にデザイン性と機能の融合を可能にした意義は大きく、炭などの“捨てるもの”の利用に止まらず、様々な応用性を持つ新しい京の伝統に発展することを期待しています。

京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 応用生命科学専攻
教授 細矢 憲

TAIHEI NOW

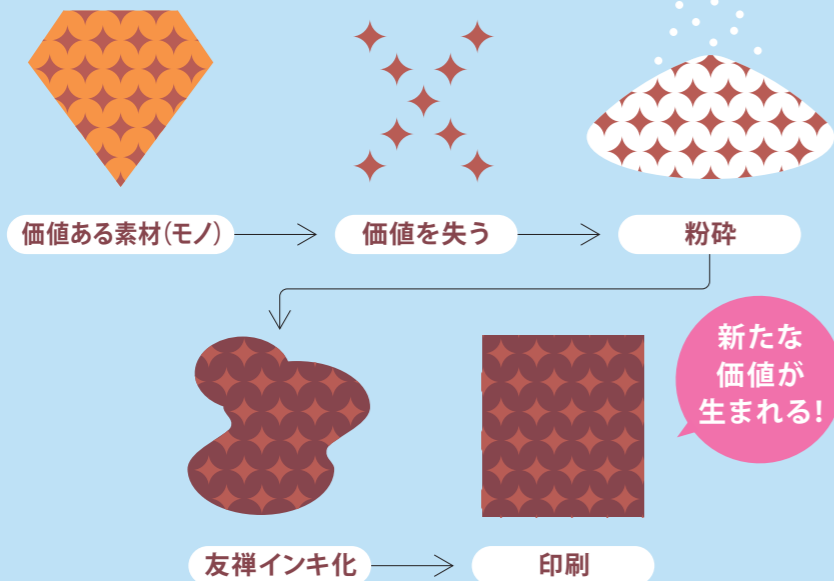
TAIHEIとお客様をつなぐコミュニケーションペーパー

視点を変えれば 新たな価値が!?

友禅印刷による リ・ボーン プリンティング Reborn Printing

友禅印刷で 価値あるストーリーが 生まれる。

本来なら捨てられるはずのものを友禅印刷の手法でインキ化することで、印刷物にまつわる“ストーリー”という奥行きを生み出します。廃棄されるものを活用するという一方で、環境負荷軽減策としても注目を集めています。



【友禅印刷】とは 友禅印刷に使用する「糊(バインダー)」に「色(グリッター・金属・顔料など)」を混ぜて、印刷の版を「型」の代わりにすることで、友禅染のような多彩な色調が表現できる印刷。手法は孔版(スクリーン)印刷です。近年はお香や抹茶、炭などの原料をそのまま印刷する手法を開発し、香り付きや消臭機能付きなど、新しい価値を付加した印刷を可能にしました。

印刷物に
新たな価値を
生み出す!

リ・ボーン プリンティング Reborn Printing

制作事例

1 楮炭による黒色 黒谷和紙カレンダー

京都府綾部市の特産品である「黒谷和紙」の原料は、楮(コウゾ)という植物の表皮ですが、皮を剥いだ後の芯部分は廃棄されています。京都府立大学との共同研究の一環で、廃棄される楮の芯部分を炭にし、友禅印刷インキに生まれ変わらせてカレンダーを印刷しました。綾部市産の楮で作られた和紙に、綾部市産の楮で作られたインキで印刷した「まるごと楮カレンダー」です。またこの楮炭インキは、炭が持つ消臭機能も合わせて紙に定着させていることが認められています。



2 葵の葉を混ぜた金色 下鴨神社カレンダー

毎年5月に開催される京都三大祭の1つである葵祭。その葵祭の装束に使用された、葵と桂の葉を、乾燥・粉碎させてインキ化し、カレンダーを制作しました。金属粉で表現する友禅印刷の金色に、葵と桂の葉が混ぜ込まれて、雅な金色に生まれ変わっています。造形作家の鈴木尚和氏による掛け軸をイメージした高貴なデザインとともに、世界遺産下鴨神社の御利益を感じる開運カレンダーです。

